

**令和4年度 JST情報サービス利用者の満足度調査
(J-STAGE閲覧者向け (日本語))**

■ 目次

■ 目次	1頁
■ 調査概要	2頁
■ 回答者プロフィール	3頁

【調査結果 詳細】

■ J-STAGE 利用頻度	8頁
■ My J-STAGE 登録状況	9頁
■ My J-STAGE よく使う機能、便利だと思う機能	10頁
■ J-STAGE 役立ち度	11頁
■ J-STAGE 役に立っている（立ちそうな）理由	12頁
■ J-STAGE 役に立っていない（立ちそうにない）理由	13頁
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、知っていたもの	14頁
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、役に立ったもの	15頁
■ J-STAGE 普段、論文の検索・閲覧時に利用しているサービス	16頁
■ J-STAGE 掲載記事の二次利用状況・目的	17頁
■ J-STAGE 二次利用のために行った手続き	18頁
■ J-STAGE 備わっていたら役に立ちそうな機能	19頁
■ J-STAGE Dataを知っているか	20頁
■ J-STAGE Dataをどのように利用できるか/使いたいか	21頁
■ J-STAGE 論文を出版する際に論文根拠データの公開を求められたことはあるか	22頁
■ 研究データをJ-STAGE Dataほか、オープンアクセスで公開したいと思うか	23頁

■ 調査概要

調査目的

国立研究開発法人科学技術振興機構が提供する主要な情報サービスについて、各サービスの利用状況、認知度、利用シーンや類似サービスとの比較・選択状況を明らかにするための調査を実施し、結果を事業企画に活用する。

調査対象

J-STAGEサイトトップページ訪問者／My J-STAGEアカウントのDM受取者

サンプル数

6265件

調査手法

インターネット調査

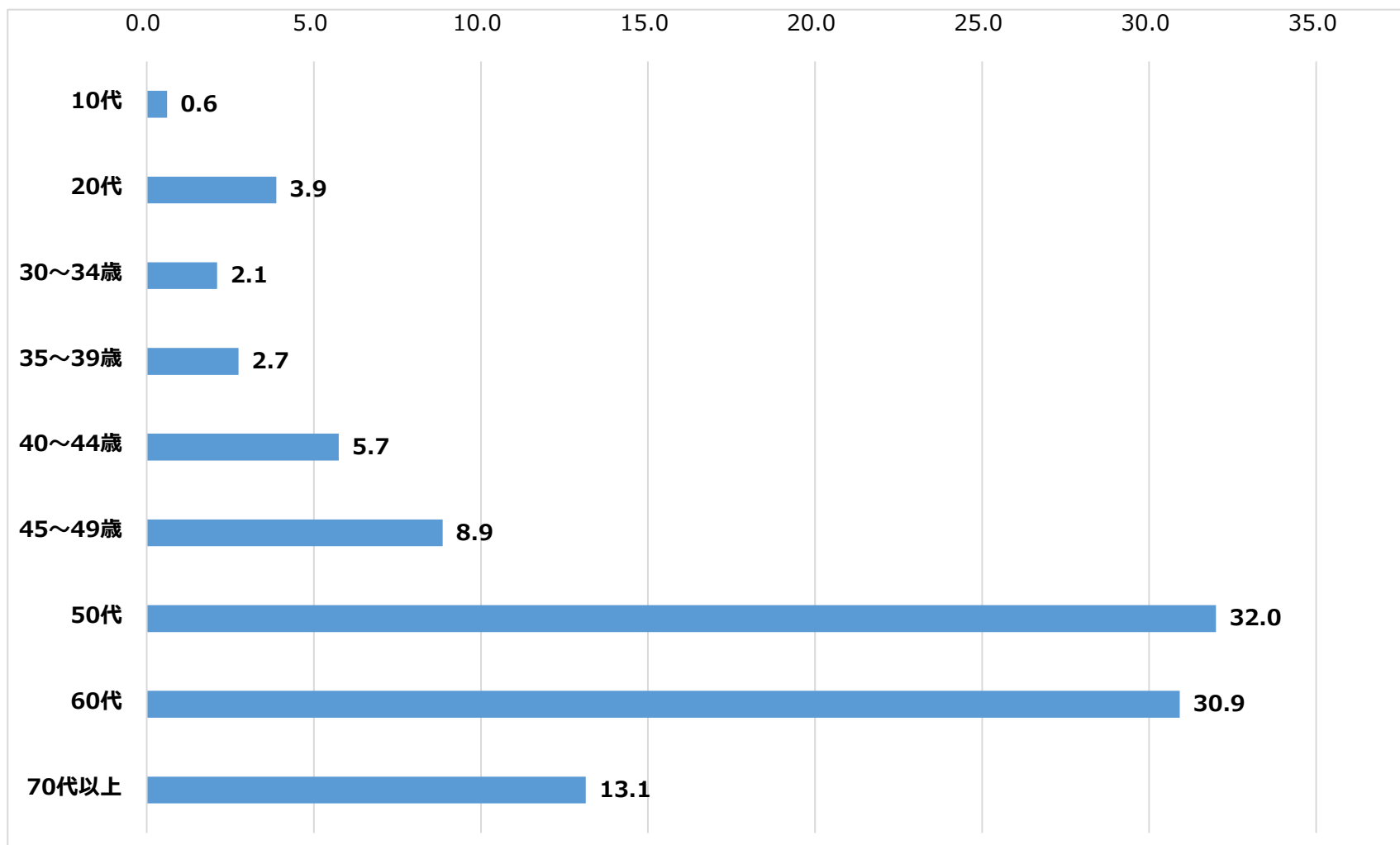
調査期間

2023年1月13日（金）～2023年2月13日（月）

■ 回答者プロフィール（1/4）：年齢

N=6265

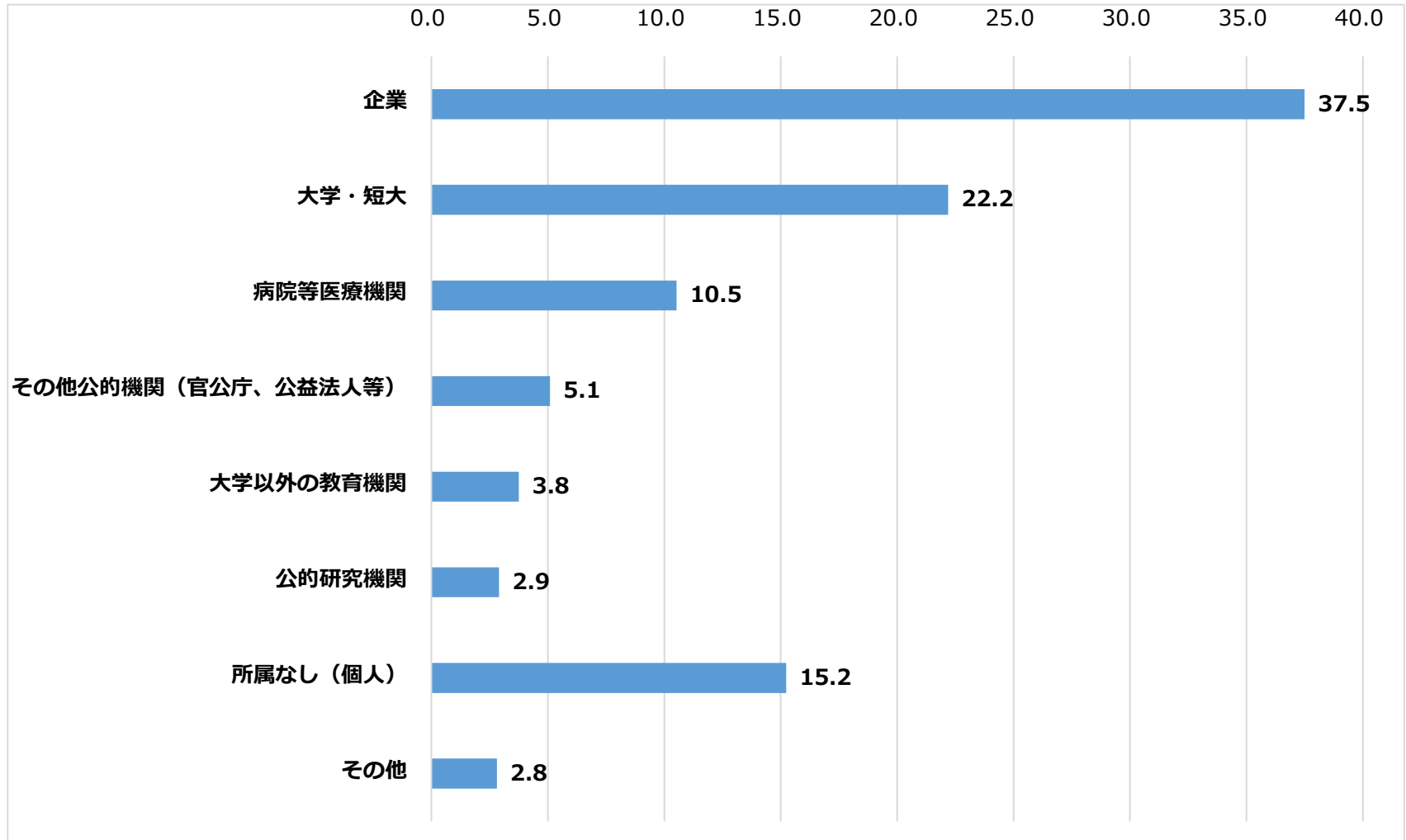
単位：%



■ 回答者プロフィール（2/4）：所属

N=6265

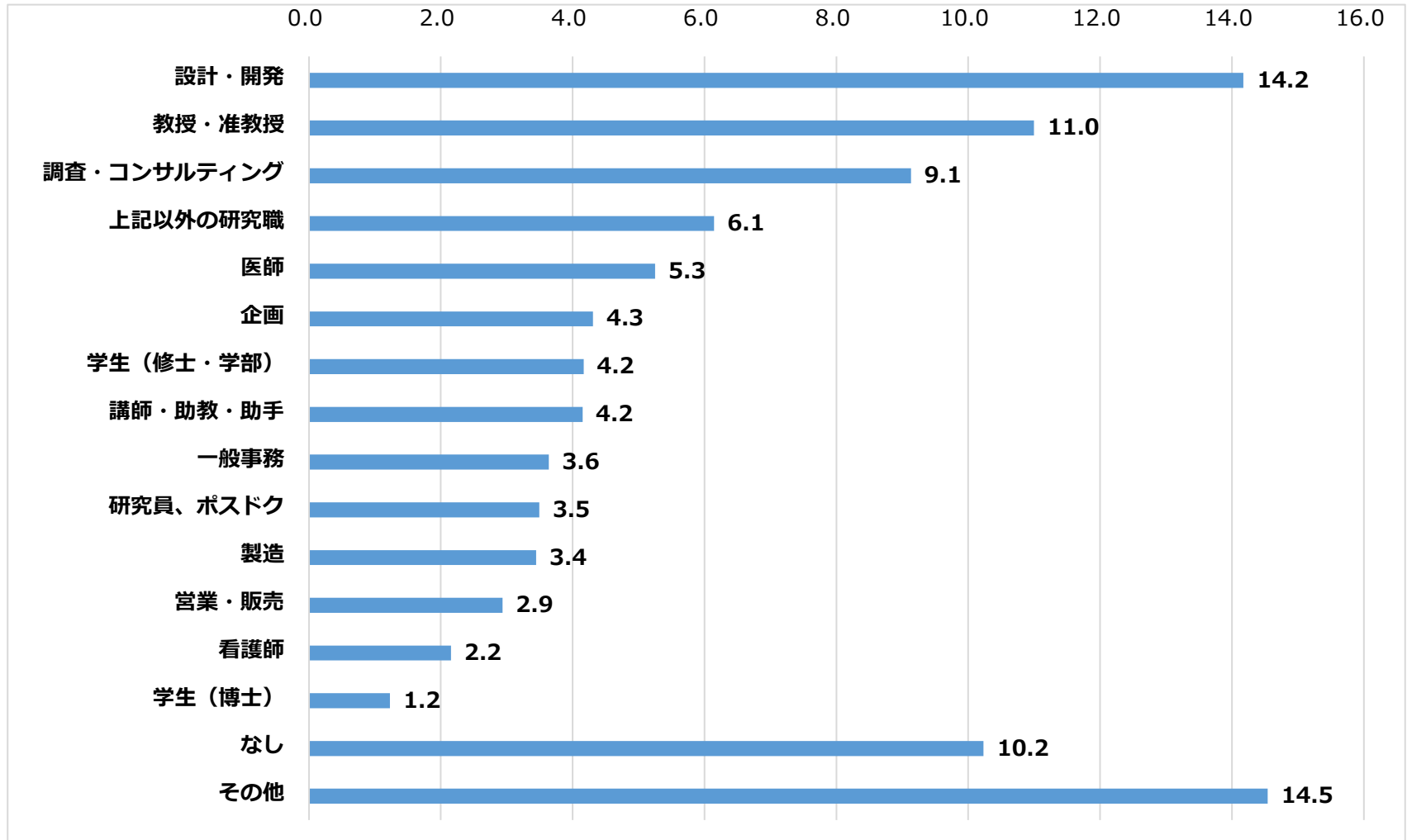
単位：%



■ 回答者プロフィール（3/4）：職種

N=6265

単位：%

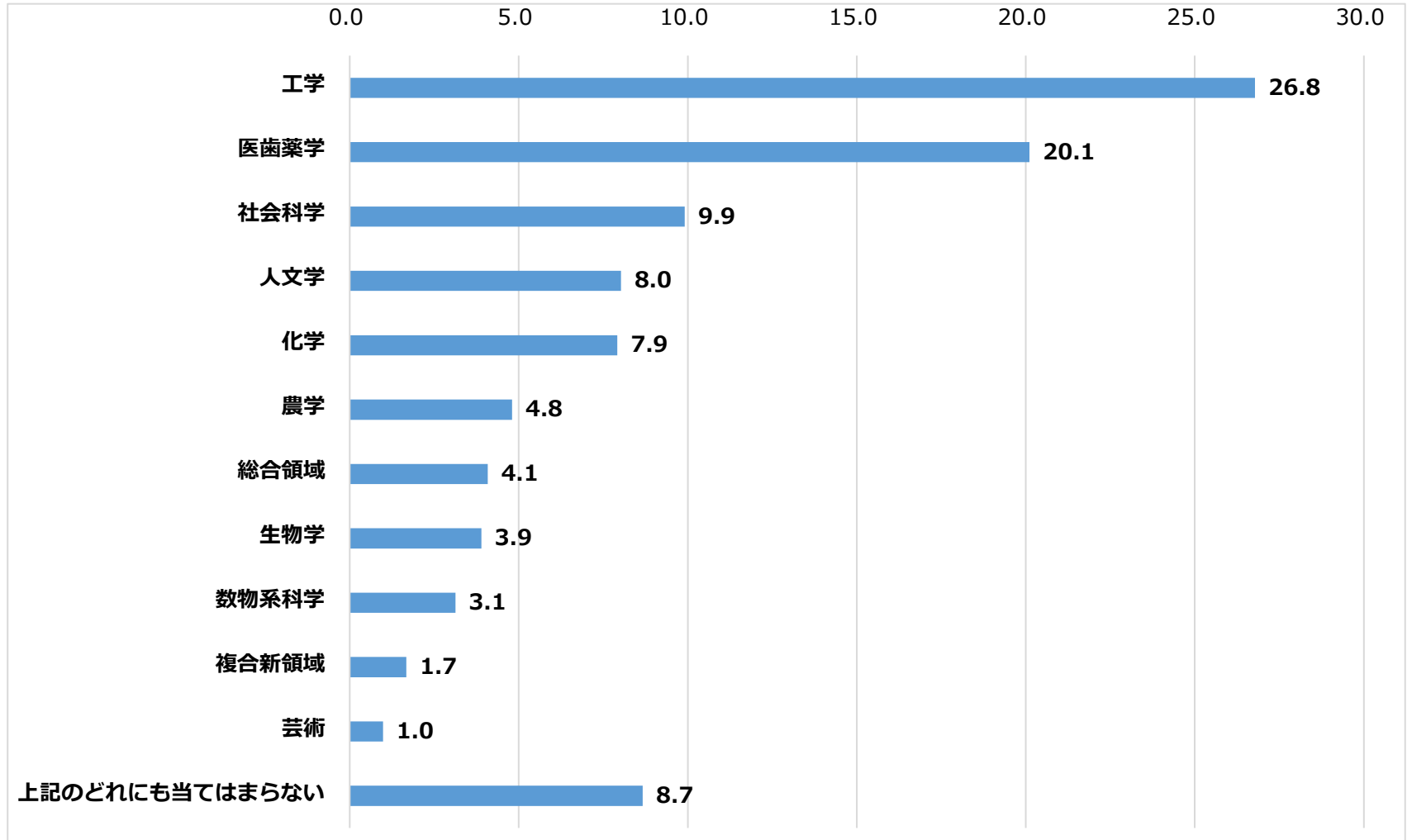


※上記以外の研究職：教授・准教授、講師・助教・助手、研究員・ポスドク以外の研究職

■ 回答者プロフィール (4/4) : 研究分野

N=6265

単位：%





調査結果 詳細

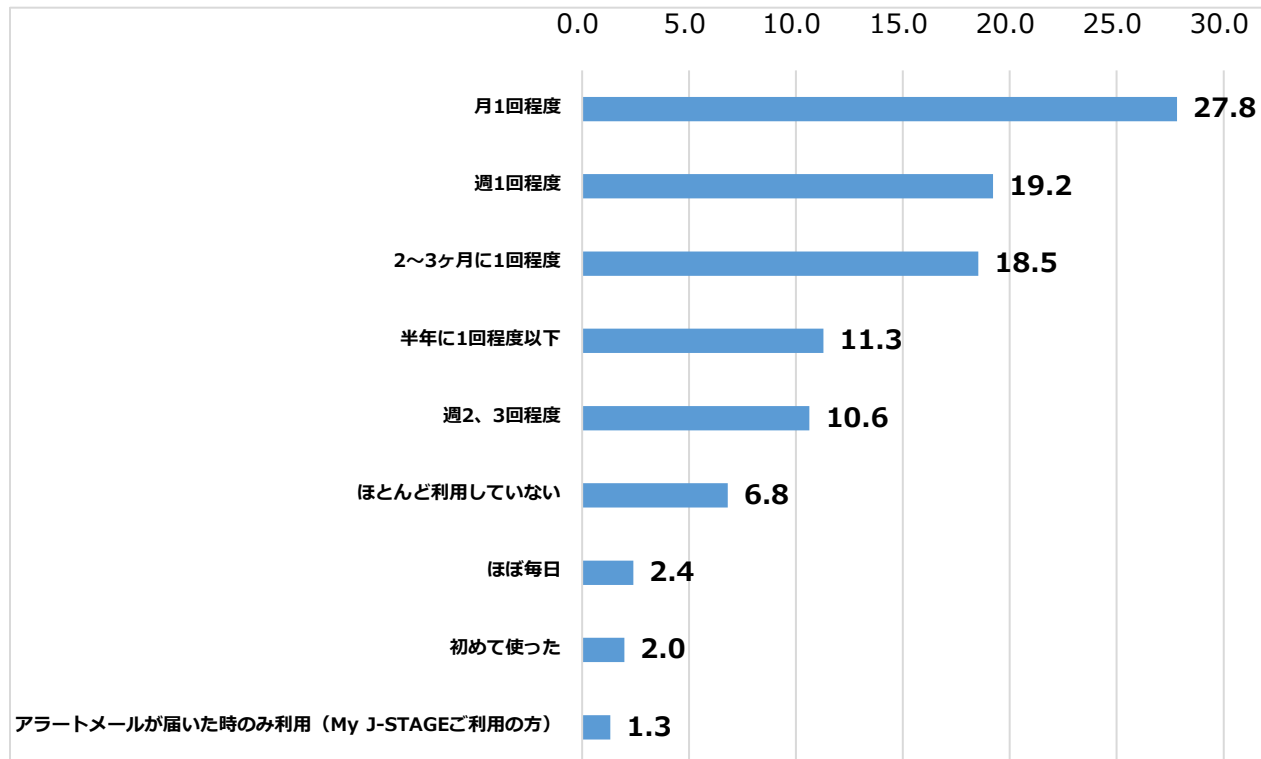
■ J-STAGE 利用頻度

設問1. J-STAGEの利用頻度を選んでください。【1つ選択】

● J-STAGEの利用頻度は、「月1回程度」が27.8%と最も高く、次いで「週1回程度」の19.2%、「2～3ヶ月に1回程度」の18.5%の順に続いている。

N=6265

単位：%



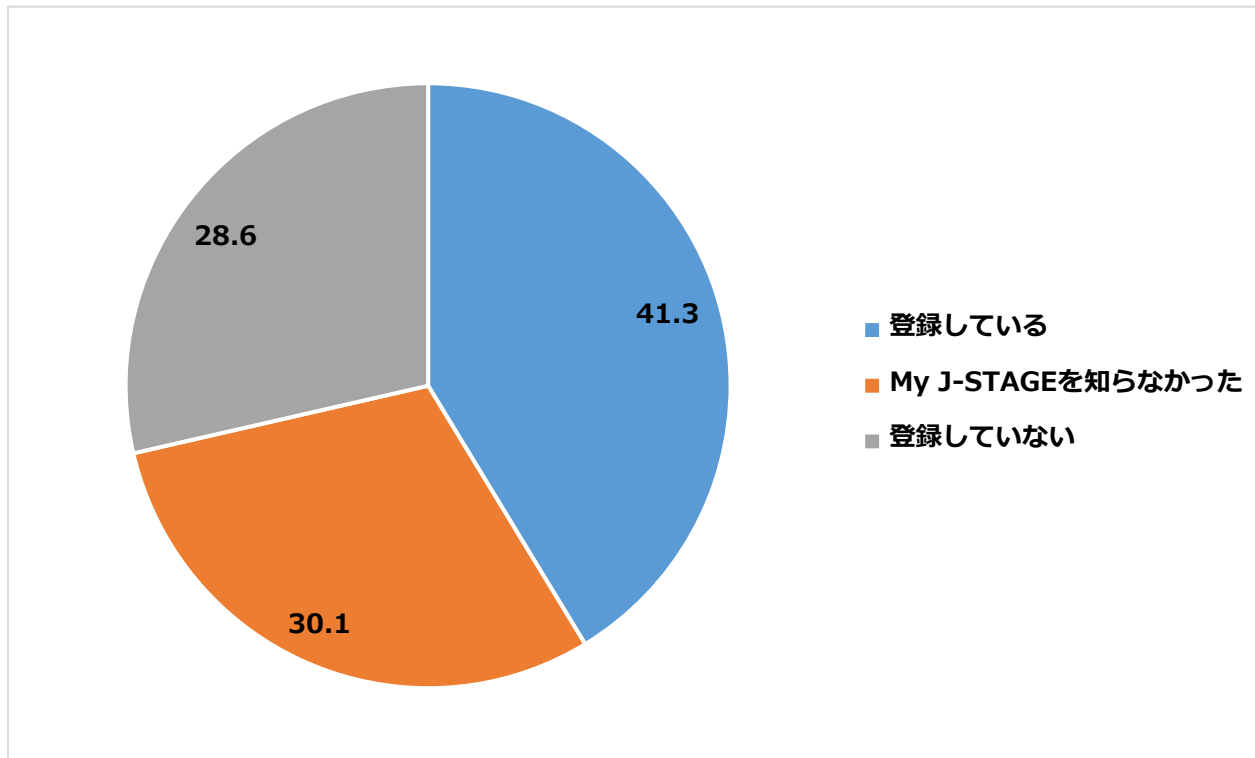
■ My J-STAGE 登録状況

設問2. My J-STAGEに登録していますか。【1つ選択】

● My J-STAGEの登録状況は、「登録している」が41.3%と最も高く、次いで「My J-STAGEを知らなかった」の30.1%、「登録していない」の28.6%の順が続いている。

N=6265

単位：%



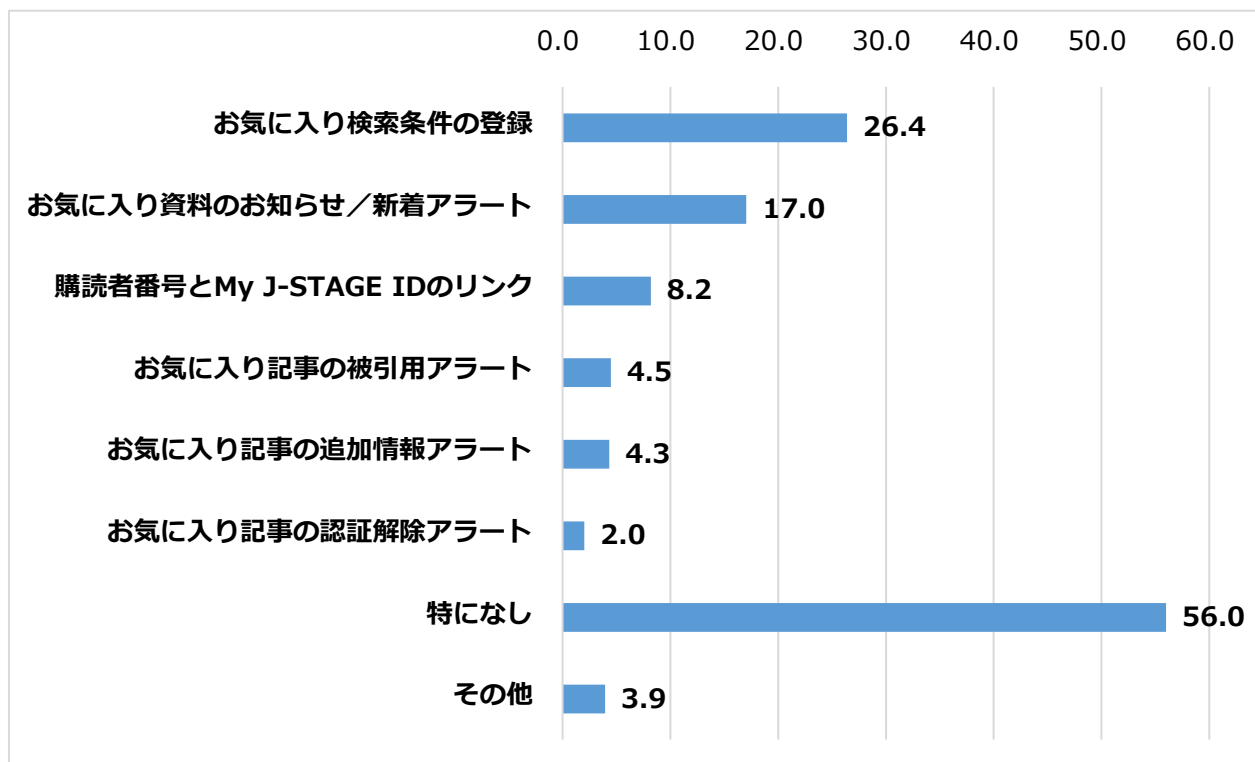
■ My J-STAGE よく使う機能、便利だと思う機能

設問3. My J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能を選んでください。【複数選択可】

● My J-STAGEでよく使う機能、便利だと思う機能は、「お気に入り検索条件の登録」が26.4%と最も高く、次いで「お気に入り資料のお知らせ／新着アラート」の17.0%、「購読者番号とMy J-STAGE IDのリンク」の8.2%の順に続いている。
「特になし」は56.0%であった。

N=6265

単位：%



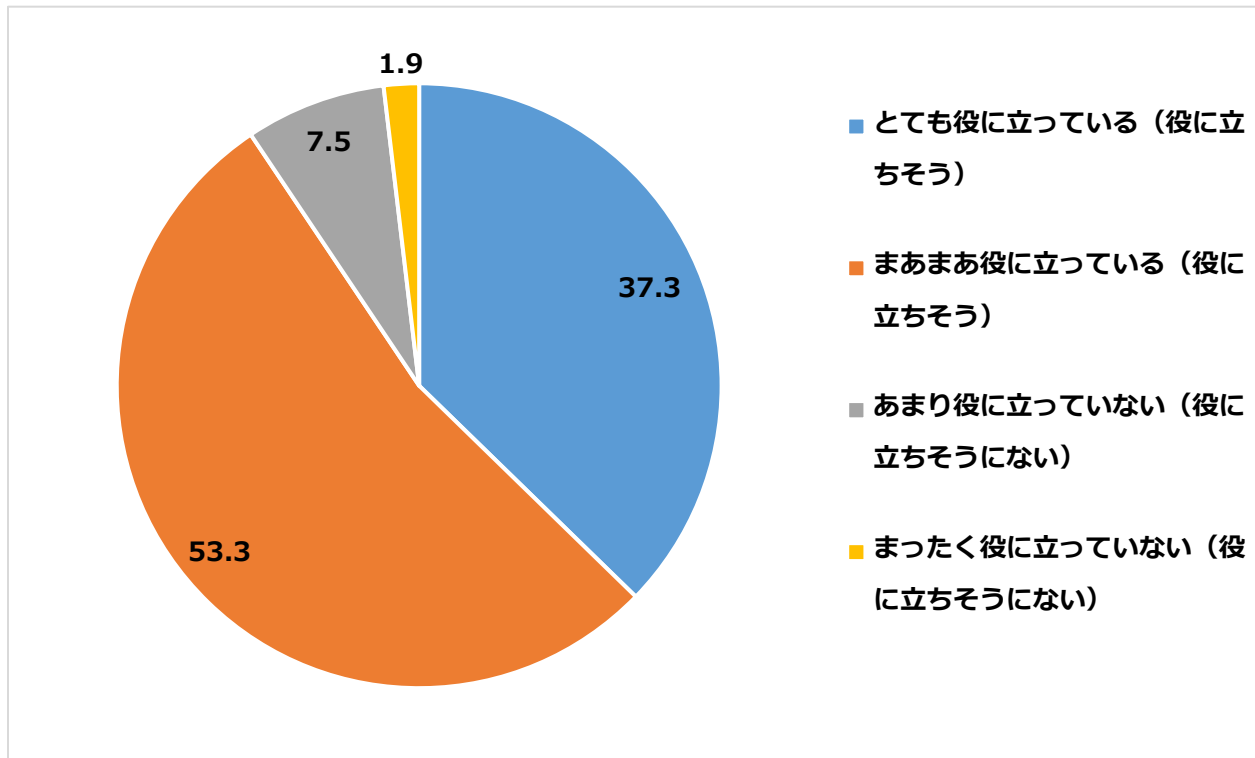
■ J-STAGE 役立ち度

設問4. J-STAGEは役に立っていますか。または、役に立ちそうですか。【1つ選択】

● J-STAGEの役立ち度は、「とても役に立っている（役に立ちそう）」が37.3%、「まあまあ役に立っている（役に立ちそう）」が53.3%。ポジティブな回答が90.6%を占め、大多数が満足した様子が見える。

N=6265

単位：%



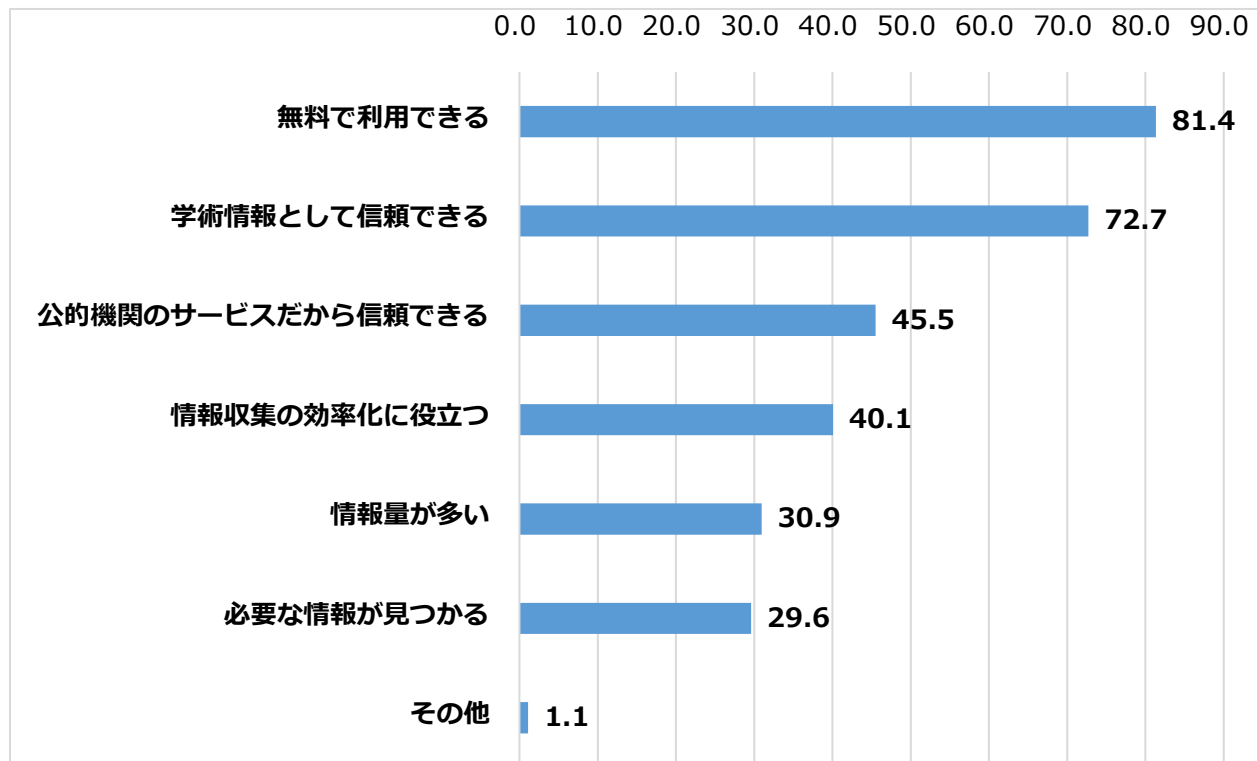
■ J-STAGE 役に立っている（立ちそうな）理由

設問4-1. 役に立っている（立ちそうな）理由を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEが役に立っている（立ちそうな）理由は、「無料で利用できる」が81.4%と最も高く、次いで「学術情報として信頼できる」の72.7%、「公的機関のサービスだから信頼できる」の45.5%の順に続いている。

N=5622

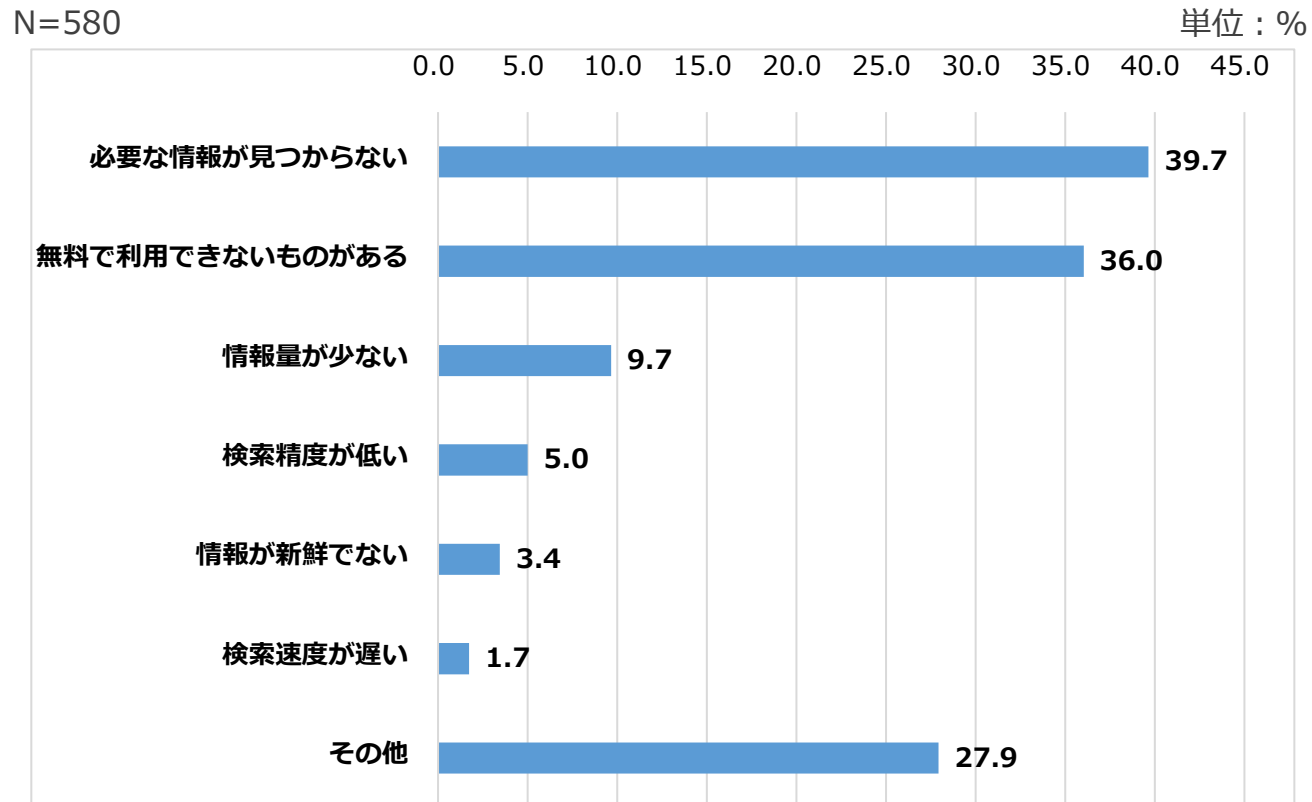
単位：%



■ J-STAGE 役に立っていない（立ちそうにない）理由

設問4-2. 役に立っていない（立ちそうにない）理由を選んでください。【複数選択可】

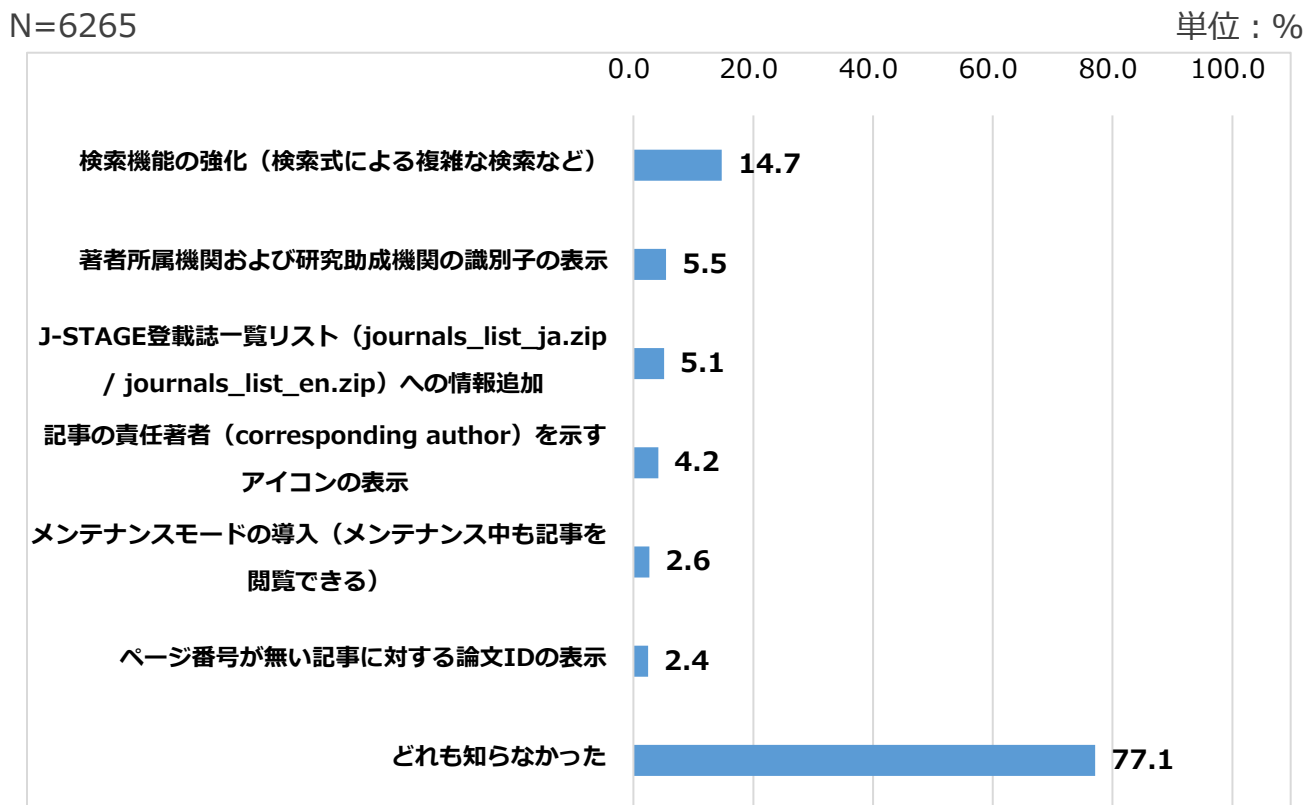
● J-STAGEが役に立っていない（立ちそうにない）理由は、「必要な情報が見つからない」が39.7%と最も高く、次いで、「無料で利用できないものがある」の36.0%、「情報量が少ない」の9.7%の順に続いている。



■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、知っていたもの

設問5. 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、知っていたものを選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEの直近1年間のアップデートについて、「検索機能の強化（検索式による複雑な検索など）」が14.7%と最も高く、次いで「著者所属機関および研究助成機関の識別子の表示」の5.5%、「J-STAGE掲載誌一覧リスト（journals_list_ja.zip / journals_list_en.zip）への情報追加」の5.1%の順が続いている。「どれも知らなかった」は77.1%であった。



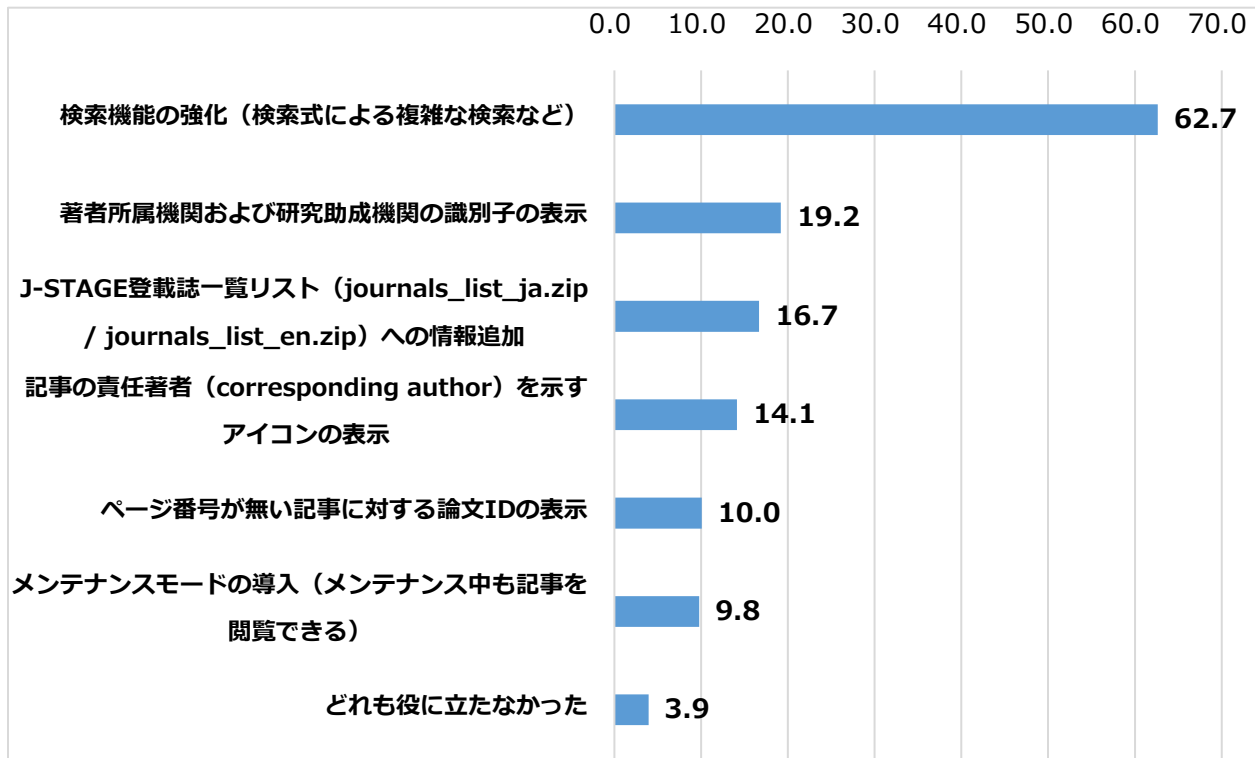
■ 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、役に立ったもの

設問6. 直近1年間にアップデートを行ったJ-STAGEの機能や表示のうち、役に立ったものを選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEで直近1年間にアップデートを行った機能のうち、役に立ったものとして、「検索機能の強化（検索式による複雑な検索など）」が62.7%と最も高く、次いで「著者所属機関および研究助成機関の識別子の表示」の19.2%、「J-STAGE掲載誌一覧リスト（journals_list_ja.zip / journals_list_en.zip）への情報追加」の16.7%の順に続いている。

N=1403

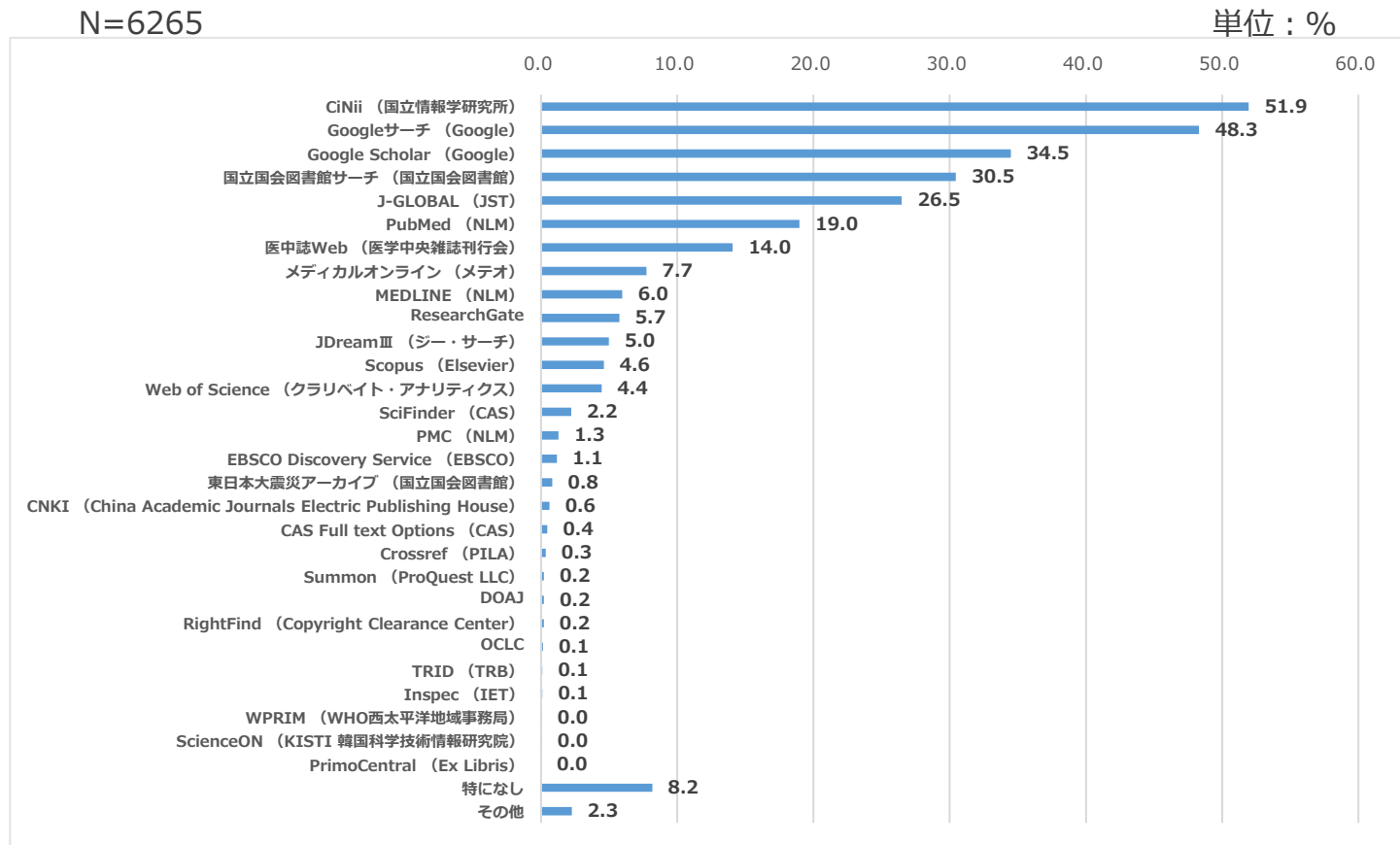
単位：%



■ J-STAGE 普段、論文の検索・閲覧時に利用しているサービス

設問7. 普段、論文の検索・閲覧時に利用しているサービスを選んでください。【複数選択可】

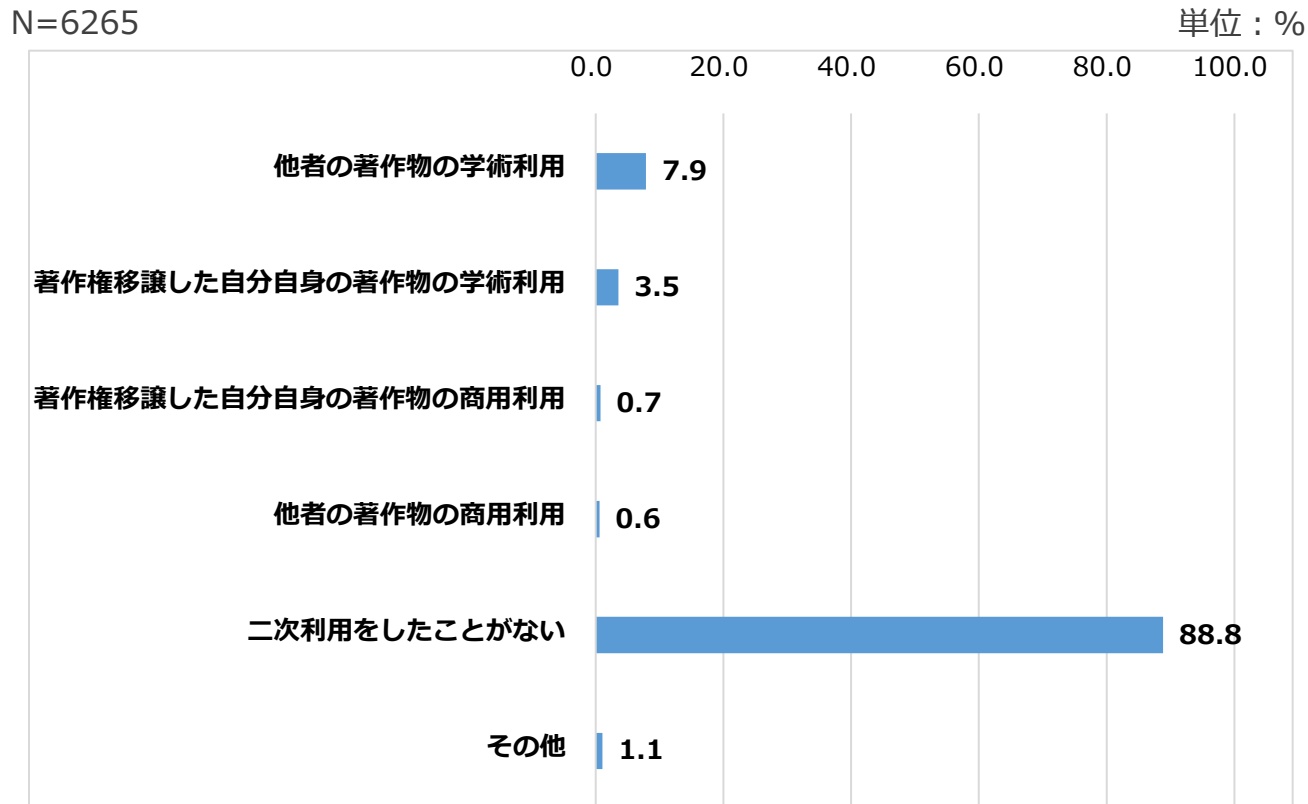
● J-STAGE以外で論文の検索・閲覧時に利用しているサービスは、「CiNii（国立情報学研究所）」が51.9%と最も高く、次いで「Googleサーチ（Google）」の48.3%、「Google Scholar（Google）」の34.5%の順に続いている。



■ J-STAGE 登載記事の二次利用状況・目的

設問8. J-STAGEの登載記事の二次利用をしたことがありますか。ある場合はその目的を選んでください。【複数選択可】

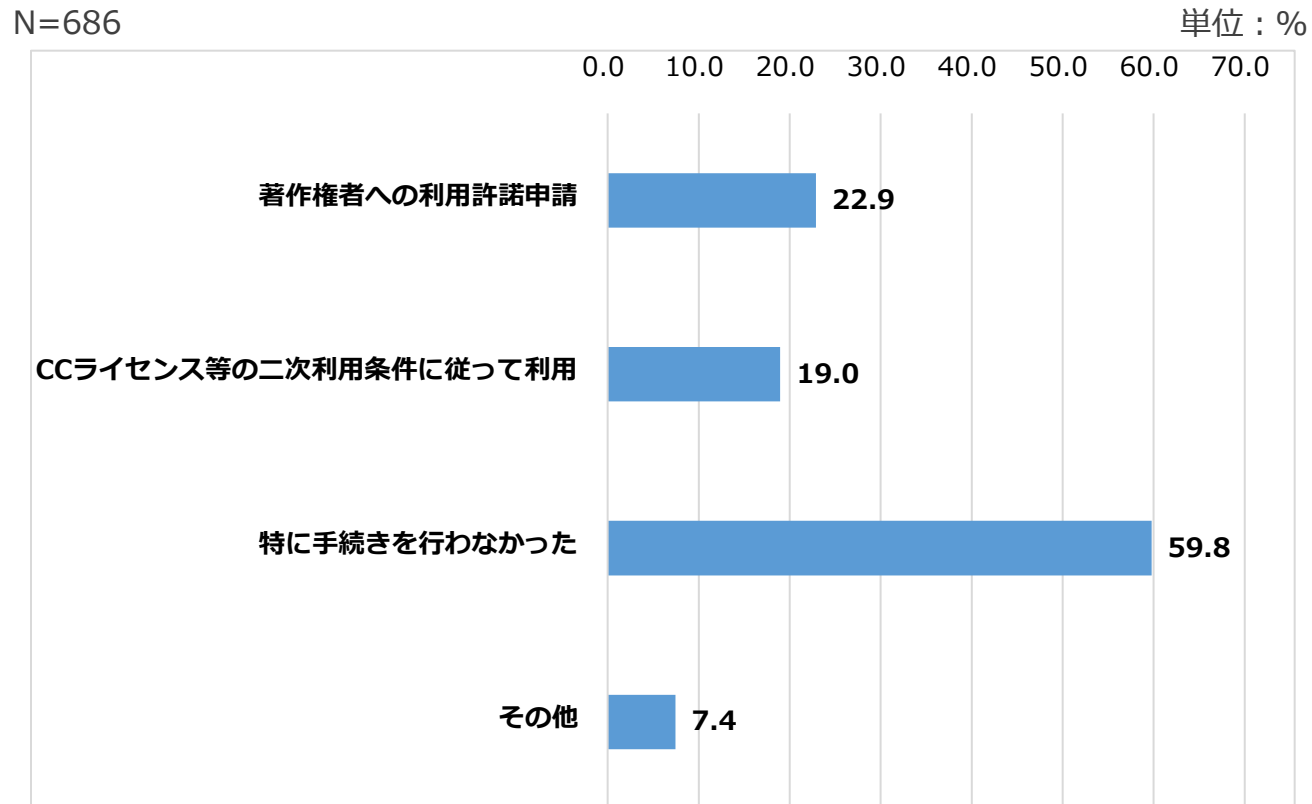
● J-STAGE登載記事の二次利用状況は、「他者の著作物の学術利用」が7.9%と最も高く、次いで「著作権移譲した自分自身の著作物の学術利用」の3.5%、「著作権移譲した自分自身の著作物の商用利用」の0.7%の順に続いている。
「二次利用をしたことがない」は88.8%であった。



■ J-STAGE 二次利用のために行った手続き

設問9. 二次利用のために行った手続きを選んでください。【複数選択可】

● J-STAGE 掲載記事の二次利用手続きは、「著作権者への利用許諾申請」が22.9%と最も高く、次いで「CCライセンス等の二次利用条件に従って利用」の19.0%の順が続いている。「特に手続きを行わなかった」は59.8%であった。



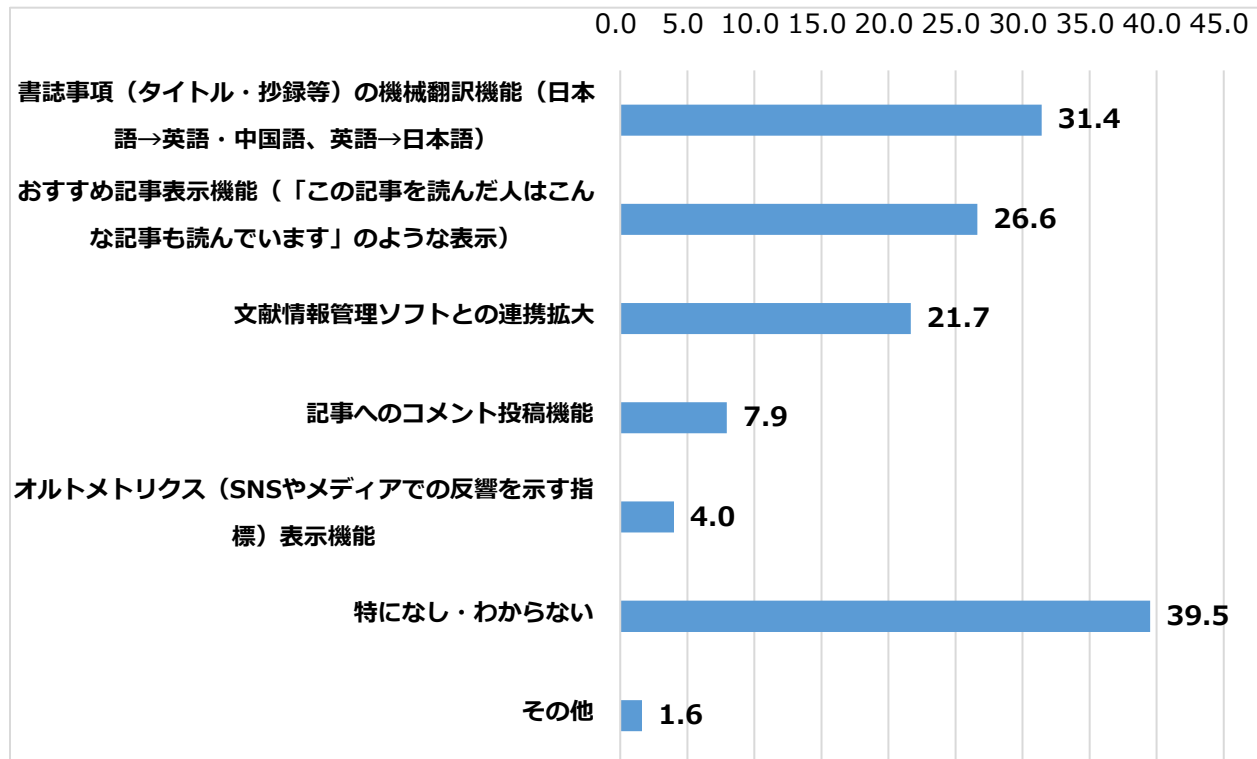
■ J-STAGE 備わっていたら役に立ちそうな機能

設問10. J-STAGEに備わっていたら役に立ちそうな機能を選んでください。【複数選択可】

● J-STAGEに備わっていたら役に立ちそうな機能は、「書誌事項（タイトル・抄録等）の機械翻訳機能（日本語→英語・中国語、英語→日本語）」が31.4%と最も高く、次いで「おすすめ記事表示機能（「この記事を読んだ人はこんな記事も読んでいます」のような表示）」の26.6%、「文献情報管理ソフトとの連携拡大」の21.7%の順に続いている。「特になし・わからない」は39.5%であった。

N=6265

単位：%



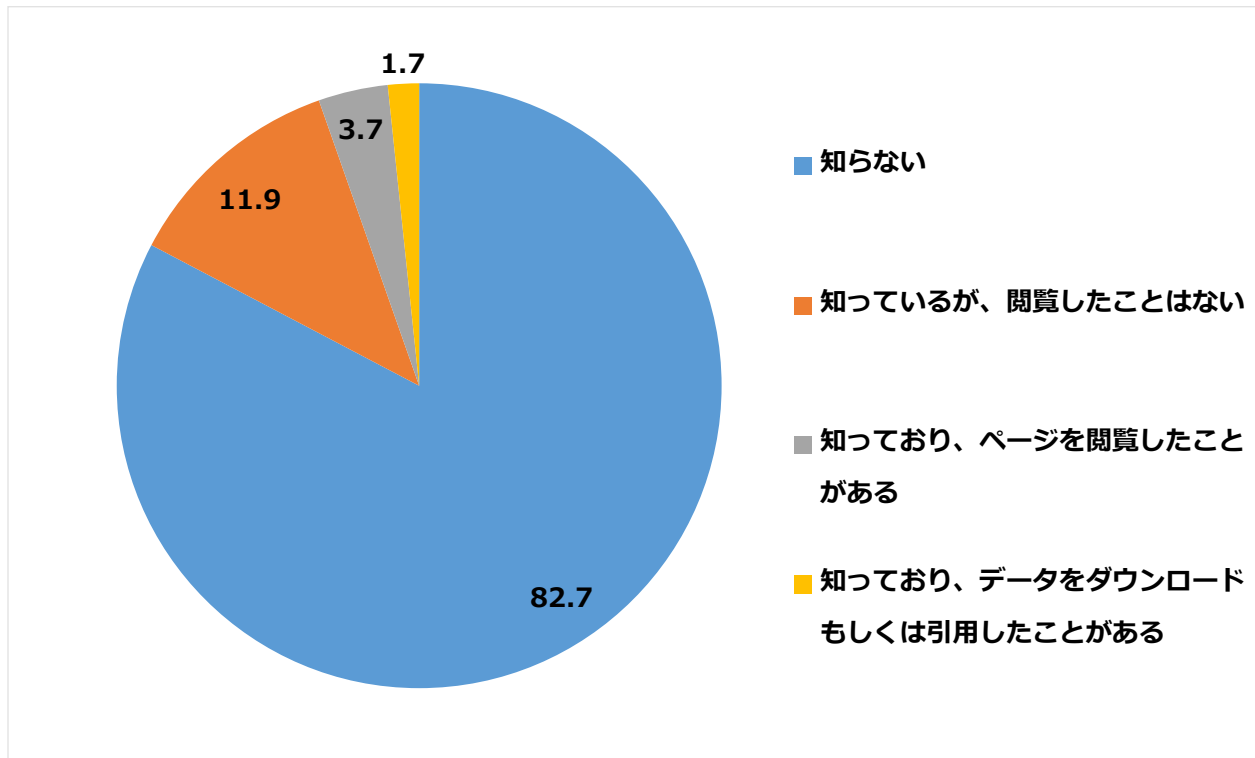
■ J-STAGE Dataを知っているか

設問11. J-STAGE Dataを知っていますか。【1つ選択】

● J-STAGE Dataを知っているかについては、「知らない」が82.7%と最も高く、次いで「知っているが、閲覧したことはない」の11.9%、「知っており、ページを閲覧したことがある」の3.7%の順が続いている。

N=6265

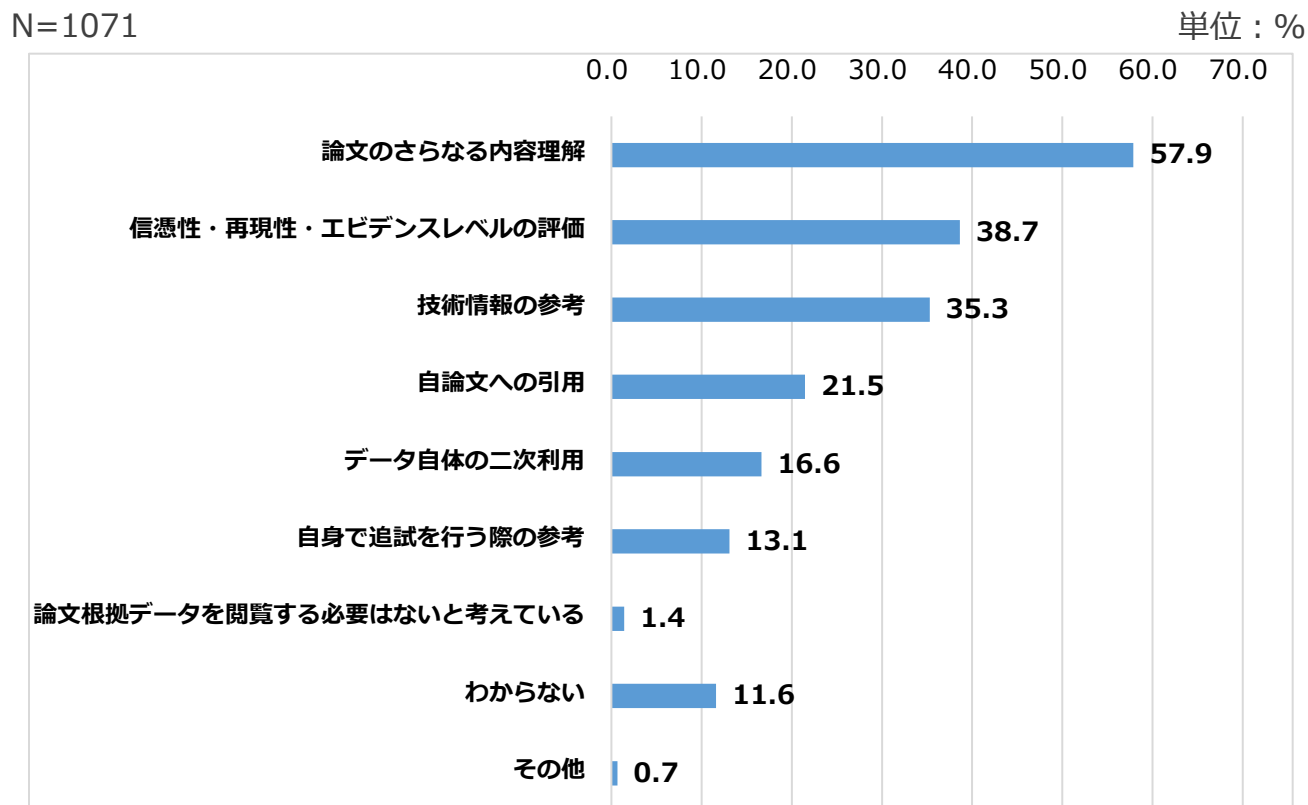
単位：%



■ J-STAGE Dataをどのように利用できるか/使いたいのか

設問12. J-STAGE Dataをどのように利用できるか/使いたいか選んでください。【複数選択可】

● J-STAGE Dataをどのように利用できるか／使いたいかについては、「論文のさらなる内容理解」が57.9%と最も高く、次いで「信憑性・再現性・エビデンスレベルの評価」の38.7%、「技術情報の参考」の35.3%の順に続いている。



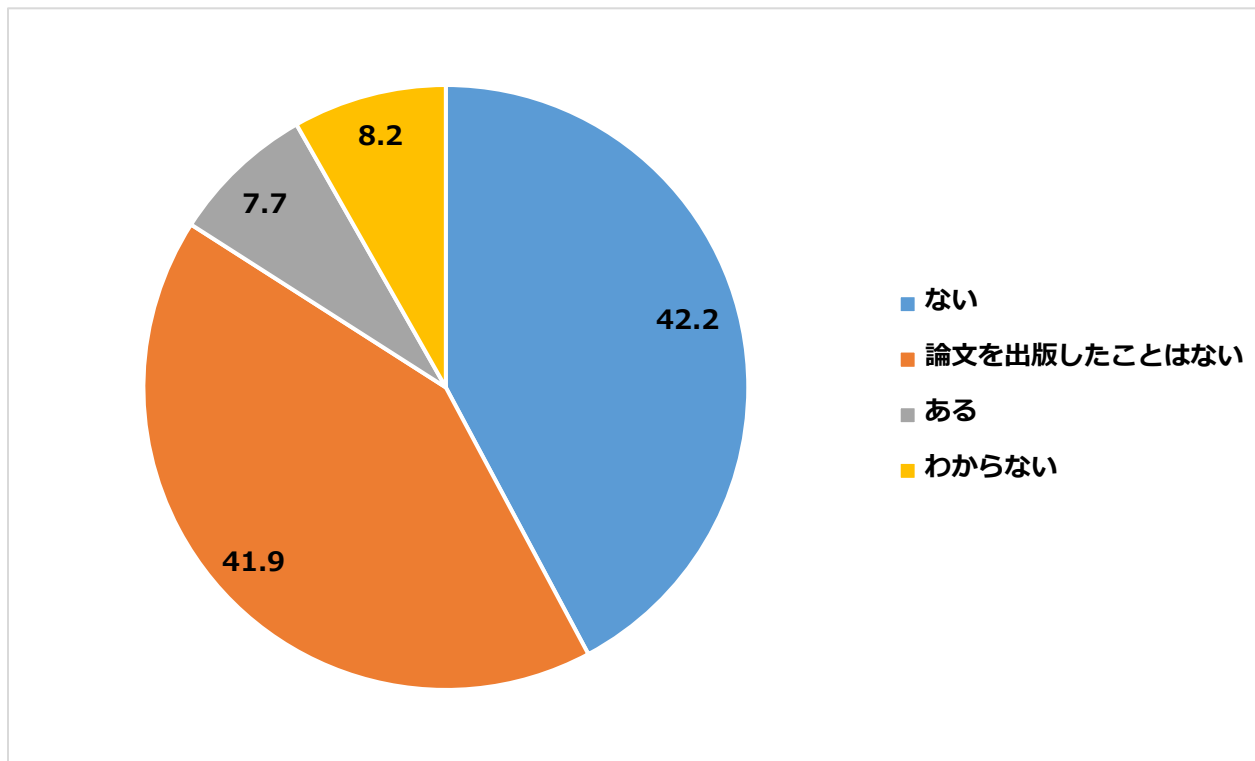
■ J-STAGE 論文を出版する際に論文根拠データの公開を求められたことはあるか

設問13. これまで、論文を出版する際に論文根拠データの公開を求められたことはありますか。【1つ選択】

● 論文出版の際、根拠データの公開を求められたことがあるかについて、「ない」が42.2%と最も高く、次いで「論文を出版したことはない」の41.9%、「ある」の7.7%の順に続いている。

N=6265

単位：%



■ 研究データをJ-STAGE Dataほか、オープンアクセスで公開したいと思うか

設問14. 自分の産生した研究データをJ-STAGE Dataほか、オープンアクセスで公開したいと思いますか。【1つ選択】

● 研究データをオープンアクセスで公開したいと思うかは、「公開したいと思う」が27.2%と最も高く、次いで「公開したいと思わない」の16.0%の順が続いている。「わからない」は56.8%であった。

N=6265

単位：%

